

平成 30 年 8 月 17 日

小規模多機能ホーム きいちご倶楽部  
平成 30 年度第 2 回 運営推進委員会

<出席者>

塩冶町地区代表,塩冶地区民生委員,出雲市介護相談員・塩冶地区福祉委員,出雲市高齢者福祉課、  
高齢者あんしん支援センター、社会福祉法人星隆会理事長、きいちご倶楽部施設長

<前回の意見/議論の要旨>

- ・4 月、終末期とされたご利用者についてひと月あまり訪問支援を行って、初めての経験であったが、ご家族からは自宅で看取れてよかったと言っていたと報告。
- ・研修で介護の資格を取得しても、取得後辞職して他に行くようなことはないかとの質問があり、現在はない旨を報告。
- ・利用が増えて、職員の態勢はどうかとの質問があり、看護師の採用を報告。
- ・要介護度が改善した利用者（2 から 1 に改善した利用者が 1 ～ 3 月に 2 人）を紹介。
- ・この会議で決まった事、課題とされたことを記録して、次回に報告して、それを踏まえて次の議論をするようにしてはどうかとの提案あり。

<ご利用者の状況>

1. 登録状況

8 月 15 日現在、16 人の方に利用登録いただいている（登録定員：20 人）。

6 月～7 月の間にふたりが入院、その後亡くなられた。

7 月にひとり新規のご利用があった。

8 月に 1 年 8 カ月利用してくださった方がひとり特養に入所された。

現在ふたりが入院しておられる。

要介護度と男女別の人数は次のとおり。平均要介護度:2.3

要介護度	男性	女性	計
1	4	0	4
2	3	4	7
3	1	0	1
4	2	2	4
5	0	0	0
計	10	6	16

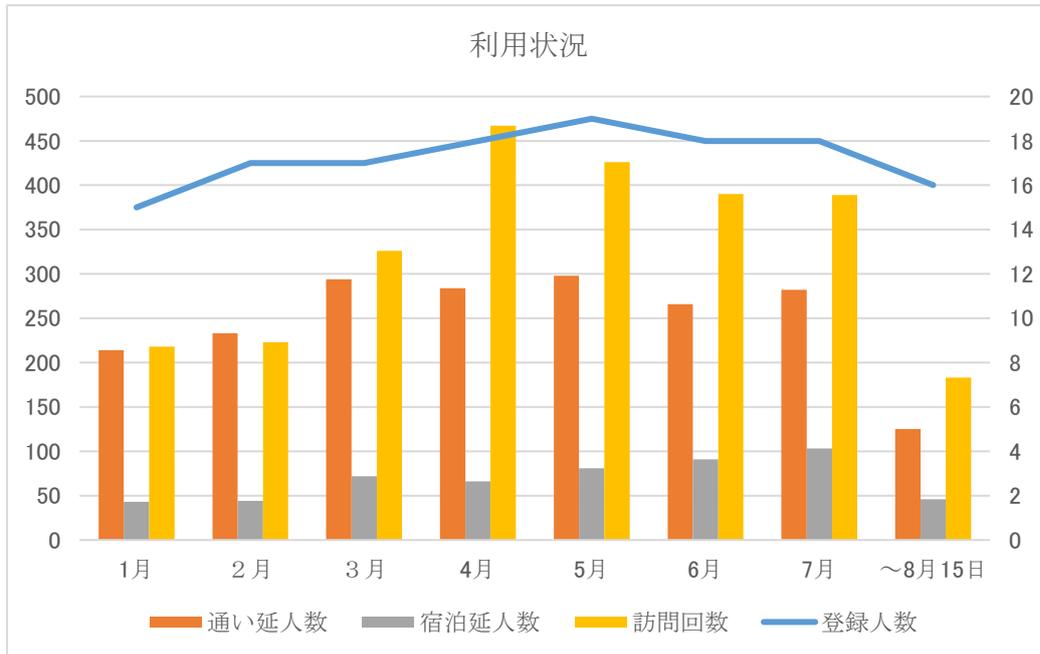
9 月から 2 人のご利用が決まっている。ほかに 1 人のご利用の予定。

ご利用者の活動などきいちご便り 11 号 を参照

2. 利用状況推移

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	～8 月 15 日
登録人数	15	17	17	18	18	18	18	16

通い延人数	214	233	294	284	297	266	282	125
宿泊延人数	43	44	72	66	78	91	103	46
訪問回数	218	223	326	467	398	390	389	183



<改善計画の実施状況>

A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第4火曜を職員会、職員研修会として、ご利用者のケース検討、情報共有を行った。</li> <li>・職員研修では6月は「緊急時の対応」、7月は「熱中症」について研修を行った。</li> </ul>
B. しつらえ・環境	環境美化委員会が各月フロア、車、窓を掃除した
C. 地域とのかかわり	6月のクリーンデーに地区の溝の清掃に職員がひとり参加した。
D. 地域で本人の暮らしを支える	6月はじめ、笹巻作りに家族が3人来られた。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	改善状況を報告する
F. 防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出雲市の防災マップが配布されたが、防災地区には指定されていなかった。</li> <li>・6月に消防署の実地指導がある。口頭での確認事項があった。</li> </ul>

<職員体制>

管理者兼ケアマネ 1名  
 看護師 非常勤 2名  
 介護主任 1名  
 介護職員 10名（ほかに1人8月から出産休暇に入った）

<記録>

矢田：暑い日が続いたが、熱中症などで体調を崩す人がなかったか？

山崎：ご利用者で明らかに脱水、または熱中症でという方はなかったが、なんとなく元気がないという方について脱水ではと、水分を勧めるといふケースはいくつかあった。

三木：入院の方がふたりというのはどういう方か。

山崎：骨折、透析の方。透析の方は2か月以上になるが、契約の解除を検討している。

三木：契約書にもそのことが書いてあるのであれば、その提案をしてもいいのではないか。

高見：ボランティアを定期的に受け入れているか。

山崎：現在はない。突発的にはある。

高見：社協たよりにボランティアの募集をすると、反応がある。それらを活用してはどうか。

野津：自分が水戸黄門をボランティアでいくつかの施設にも行っている。

山崎：家族の方、地域の方の力を借りるという意味で、ボランティアを受け入れることは課題である。

---